

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2013年2月12日

派遣者氏名（専門分野）	青木佑介（フランス文学）
-------------	--------------

派遣期間	2013年1月12日～2013年1月27日
------	-----------------------

**派遣研究機関**

国	都市	訪問機関
フランス	パリ カン	Bibliothèque du film IMEC パリ事務所、IMEC L'Abbaye d'Ardenne (カン図書館)

**利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）**

**Bibliothèque du film**

映画文献資料図書館（Bibliothèque du film）は、フランス映画に関する資料を収集、保管することを目的に創設された図書館である。2007年にシネマテーク・フランセーズ（La cinémathèque française）に統合され、現在に至っている。図書館内で閲覧可能な映画作品及び資料は、同図書館がウェブ上で公開する「シネ-ルスルス（Ciné-ressource）」で確認できる。（[http://www.cinerecsource.net/recherche\\_t.php](http://www.cinerecsource.net/recherche_t.php)）作品を観るだけであれば事前予約は必要なく、図書館に直接赴き、一日券（3.50€, 2013年1月現在）で利用可能。作品制作に関する資料を閲覧するためには、事前申し込みが必要となる。

**IMEC (Institut Mémoires de l'Édition Contemporaine)（現代出版物保存協会）**

**概要：**

IMECは、1988年、現代の出版物に関する資料を収集、保管するために創設された機関である。所蔵する資料を研究者及び出版関係者を対象に公開している。2004年にはパリからノルマンディー地方、カン郊外のサン・ジェルマン＝ブランシュ・エルブのアルデンヌ修道院(L'Abbaye d'Ardenne)に資料保管所としての機能を移し、現在パリには事務所のみを残している。

**事前手続きと利用方法：**

**パリ事務所**

資料のカタログを閲覧できる。複写は出来ないが、パソコン、ノートへの転記は可能。事前にメールにて予約が必要。利用可能日及び時間は、水曜日 9:30-13:00、金曜日 9:30-13:00。（2013年1月現在。変更されることがある）パリの事務所でも、カンの保管所にて閲覧を希望する資料の予約ができる。

**アルデンヌ修道院**

**①事前登録**

初めて利用する場合には IMEC のサイトから事前登録が必要となる。フォーマットが用意されているので、必要事項を記入し送信すると、日程、閲覧を希望する資料について知らせるよう連絡が届く。滞在を希望する期間と閲覧を希望する資料を伝え、予約が完了したと返信が送られて来る。（実際に資料を閲覧するには、現地、もしくはパリの事務所にて用意された用

紙に必要事項を記入する必要がある。) 開館日及び開館時間は、火曜日-木曜日 9:30-18:00、金曜日 9:30-17:00。

資料閲覧の予約完了後、施設利用受付担当者からメールが届き、滞在方法、シャトルバス利用の申し込みフォーマットが送られて来る。アルデンヌ修道院は郊外にあるため、食堂、宿泊所が敷地内に設けられており、希望に応じた利用が可能となっている。以下に利用方法別料金を記載する (2013年1月現在)。

図書館：

宿泊、食事、シャトルバス：

一日・・・・・・・・・・4€

一食・・・・・・・・・・12€

一週間・・・・・・・・・・15€ (火-金)

一泊二食付き・・・・・・・・32€ (朝食+昼食か夕食)

一年間・・・・・・・・・・40€

一泊三食付き・・・・・・・・44€

シャトルバス・・・・・・・・3.50€ (片道)

送られてくるフォーマットに必要事項、希望する滞在方法等を記入し返信すると、数日以内に施設利用の予約が完了した旨を伝える返信があり、事前の手続きは完了となる。シャトルバスとの待ち合わせ時間はパリ発の電車がカン駅に到着する時刻に合わせてあり、カン駅前に 9:03分と定められている。予約した電車の時刻について、念のため到着前日に電話で知らせよう促されたが、後日、待ち合わせ場所、時間を指示したメールが届き、電話は不要と伝えられた。

## ②利用方法

施設：

アドレンヌ修道院に到着すると、まず受付にて施設利用の説明を受け、滞在方法の確認を行う。受付で身分証明所 (パスポート等)、もしくは 50€の保証金を預け、それと引き換えに部屋の鍵及びロッカーの鍵を受け取る。預かり証書を渡されるので、出発日の精算時に持参する。ロッカーの鍵は金曜日 (出発日) に利用できるように渡され、それ以外の日は使用することはない。金曜日 (出発日) は、午前中に掃除が入るので、9:30 までに部屋を空けなければならず、建物内の廊下に設置されたロッカーに荷物をしまい、図書館を利用する。食事は、朝食 8:00-9:30、昼食 12:45、夕食 19:00 となっている。

図書館：

今回の滞在期間中、図書館は工事中であったため、資料の閲覧は保管施設内の会議室で行った。規則は同じだが、普段の利用方法とは多少異なる可能性があることを断っておく。

図書館では、まず指導教員の証明書を提出する。そこで利用規則について書かれた書類を渡されるので、内容を確認し署名する。その書類を提出後、資料の閲覧が許可される。

閲覧を希望する資料の申請は、午前中 10:30 まで、午後 14:30 まで。申請できる資料の数に制限はないが、一度に閲覧出来るのは資料一点のみである。閲覧室に持ち込めるのは、ノート、鉛筆、パソコンのみ。上着、鞆等は指定の場所にしまう。持参した辞書及び書籍の持ち込みは可能であった。

## 注意点

20 世紀の資料のため、所有権の関係上、資料から引用し出版する際には必ず有権者の許可が必要。また資料によっては閲覧不可、もしくは事前に有権者の許可が必要なものがある。

以上